

2024 年 6 月 3 日

学校法人三幸学園
福岡リゾート&スポーツ専門学校
校長 岩本 克也 殿

学校関係者評価委員会
委員長 秋吉 美和

学校関係者評価委員会実施報告

2023 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 松枝 徹 (公益財団法人福岡市スポーツ協会 事業課 課長)
- ② 岸 明秀 (株式会社共立メンテナンス 九州支店 支店長)
- ③ 鱧谷 優 (ARCOBALENO 代表 2013 年度卒業生)
- ④ 秋吉 美和 (有限会社 オールバーグ 取締役社長)
- ⑤ 坪 秀範 (飛鳥未来高等学校 博多キャンパス)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2024 年 6 月 2 日 福岡リゾート&スポーツ専門学校 704 教室

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023 年度 学校法人 三幸学園 福岡リゾート&スポーツ専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 石川 好典・吉留 朝美

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 秋吉 美和

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【教育理念・目標について】

前年度の目標：学生・保護者への教育理念の周知・浸透の向上

保護者の参加率をより高めるために、保護者説明会をオンライン同時双方向で開催を実施した。

入学時の研修であるスタートアッププログラムにて教育理念、目指すべき人物像についての指導を行った。

【学校運営について】

前年度の目標：教職員の統一した指導 ICT ツールの積極的活用

学園として整備されている教務規定・クラス運営・授業づくりに関するマニュアルを教員間で 3 月・4 月・9 月に読み合わせを実施し、統一した指導の目合わせを行った。

クラス担任は全員コンプライアンス研修を受講した。

様々な ICT ツール(Teams/Sanko-Gate/Classroom)用途を明確にして活用した。

【教育活動】

前年度の目標：学校満足度の向上・各種インターンシップの提供

学生の状況に合わせた長期インターン・1DAY での短期インターンを使い分けて実施した。

ハイパーUQ(教育心理検査)・クラス満足度・学校生活満足度検査の活用を実施した。

【学修成果】

前年度の目標：授業満足度の向上

学科担当制のシステムの強化をするために、常勤職員が関わる教科を分散させ、複数人で 1 クラスを見ることができるように配置した。

【学生支援】

前年度の目標：クラス満足度の向上

HRとキャリア指導の授業を持つ教員を複数人配置していることにより、1 人の学生に対して 2 人以上の教員が関わり学生支援を行っている。

出席率・単位修得についての文書を発送し、保護者と連携を強化した。

【教育環境】

前年度の目標:スポーツ現場に行く機会の創出

スポーツ業界でのアルバイトを斡旋し、業界内アルバイトをすることでインターンシップ実習の単位互換を行った。

【学生の受け入れ募集】

前年度の目標:業界で活躍する卒業生の積極的紹介

卒業後の多様なキャリアを可視化できるツールを作成し、業界で活躍する卒業生の情報を整理した。

【社会貢献、地域貢献】

前年度の目標:地域行事への積極的参画

地域の行事ごとには積極的に参加をしており、地域の方との交流を増やしている。

地域の方をお招きした学内スポーツクラブを行事として運営した。

地域の未就学児を対象とした幼児運動教室であるリゾキッズを定期的に運営した。

3.評価項目の達成及び取組状況**(1)教育理念・目標**

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

生徒への教育理念・目的・育成人材像の周知はできているが保護者様への周知は入学時の保護者説明会のみとなってしまう。

② 今後の改善方策

保護者の方が学習成果を見る場面を案内し、学校理念の浸透、将来構想などが伝わる機会を創出する。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・高校での行事も保護者の方の参加が多く、コロナ禍があけてより関心が高まっているように感じている。学校行事だけでなく授業見学など多くあればあるほど保護者は安心すると思う(坪委員)
- ・学生の口からは学校の様子が保護者に伝わり切れていないと思う。それぞれの授業での成果物の発表のタイミングで保護者に実際に見てもらうのが望ましいのではないか。(秋吉委員)
- ・多感な時期の年齢になるかと思うので、実習や学校生活の様子などを動画コンテンツにして保護者に届けてみてはどうか。また、保護者の方を対象に学生が施術する機会を設けてはどうか(鰐谷委員)

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

Teams・Sanko-gate(学内 WEB 掲示板)・Google classroom の使い分けの実施はできているが、Teams の教員利用に関しては機能していない面がある。

② 今後の改善方策

Teams を雇用形態問わず全教員が利用できるよう促進していく。

③ 特記事項

全教職員参加の全体会議はコロナ禍前に戻し、対面で実施し、教職員の意識統一の場を設けた。
学科会・教科会と対象を分散させより専門的かつ具体的な案件を考えられるよう分科会を実施した。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・行政の職員間ではイベントごとにグループを作り LINE を活用している。(松枝委員)
- ・情報過多のため必要な情報が届かないケースを多く感じている。入寮者関係では、保護者は子どもからのLINEは必ず見ることを活用し、学生を通した保護者へのアプローチは有効だと感じている。(岸委員)
- ・社会に出てから必要になる報連相の訓練も兼ねて情報確認後に返信するなどを学生生活から実施してみてはどうか。(松枝委員)
- ・スマートフォン・iPad 等が普及している世代のため、「情報を紙に書く」という習慣がない。世代に合わせた情報の発信方法も検討が必要ではないか。(坪委員)

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4

関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

長期のインターンシップ同様に短期インターンシップ先を体系化すること
外部活動に非積極的な学生への魅力づけ

② 今後の改善方策

有給インターンシップの導入

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・インターンシップは時給単価を上げてでも若い世代の応募がない。決められたスケジュールで入ることを嫌い・スポットで入る仕事を好む傾向があるため、短期でのインターンシップを体系化することは非常に意義があると思う。（秋吉委員）
- ・専門学校は目標を決める機会は多く準備をされているが、実際に目標を叶えるための手段が分からない部分もあると感じる（鰐谷委員）

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
---------------------------------------	---

① 課題

早期離職を防ぐためにもより納得できる条件の就職先を選ぶこと

② 今後の改善方策

キャリア形成を見据えた就職指導の強化と並行して内定を取れるような指導を強化する

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・早期離職の理由は給与と業務負荷が合っていないことが原因であることが多い。(秋吉委員)

・転勤があることを嫌がる傾向が強い。勤務先も十分に確認して受験させることが望ましいのではないか。(岸委員)

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

保護者連携として、定期的に学習機会を見る場面を用意することが必要

高校との連携強化

② 今後の改善方策

学習機会を見学できる機会をつくる

姉妹校の高校と専門学校を連携させる高専接続担当者を配置する。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

学内外での実習やボランティアの事前指導強化

② 今後の改善方策

事前指導内容の統一

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・コロナ禍があげて行政が行うイベントも元に戻っているが未就学児を対象としたイベントはほとんどのイベントが抽選になるほど人気があるためニーズが高まっているように感じる。(松枝委員)

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

スポーツを見ることが好きな層など新たな層の獲得が必要

② 今後の改善方策

人気のあるカリキュラムの導入

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・ユニバーサル系スポーツは人気が集まっているように感じている。(秋吉委員)

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

現段階で担任職員は学内コンプライアンス等の研修は全員実施完了。今後も続けていく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・教育現場でコンプライアンス研修が行き届いてしまった結果、学校現場で学生に叱れない・教職員同士も遠慮をしている傾向があるのではないかと。コンプライアンスに抵触しない叱り方研修はニーズが増えている。(秋吉委員)
- ・現場でトレーナー教育をしている時には事実に基づいて指導をするようにしていた。(鯉谷委員)

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

学校が所在している博多区比恵町への地域貢献

② 今後の改善方策

学内スポーツクラブの運営と比恵町清掃活動を実施していく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・専門学校が無料でイベントを行う場合、民間の企業へ影響が出る可能性があるため、自治体と連携したイベントを企画すると良いのではないかと。(岸委員)
- ・地域支援課と連携をして公民館で行っている健康維持への運動などに取り組めるのではないかと。(松枝委員)

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育の場として、学生たちへ内発的な動機をいかに与えられるかが非常に重要である。学生たちに多くのきっかけを与えられる学校を創っていききたい。

学校の中だけでなく、学校に関わる外部の方からの学校を良くするためのヒントとなり得る貴重なお話が聞けたため、今回いただいた意見を基に今年度整備をして実施していきたい。

職業意識の醸成を目的に、日々の授業・校外実習・行事の運営を目標としていく。(吉留副校長)